

第76回島根県立大学短期大学部教育研究評議会議事要旨

[平成25年度 第5回(定例)]

日 時 平成25年8月21日(水) 15:00~16:10
場 所 出雲キャンパス大会議室
出席者 本田学長、小室委員
[松江C] 山下(由)委員 岸本委員 名和田委員 鹿野委員
[出雲C] 山下(一)委員 田中委員 吉川委員 齋藤委員
[事務局] <松江C> 樋野事務室長 上代管理課長 古満教務学生課長
<出雲C> 稲垣事務室長 青木管理課長 三谷教務学生課長
欠席者 なし
定足数確認後、規程に基づき学長が議長となり議事を進行した。

〔議事〕

議題1 第75回教育研究評議会議事要旨の確認について

<資料1> 第75回島根県立大学短期大学部教育研究評議会議事要旨
学長から、あらかじめ配布した議事要旨について確認があり、承認された。

〔報告事項〕

報告1 地(知)の拠点整備事業について

<資料2-1>平成25年度地(知)の拠点整備事業 申請・採択状況
<資料2-2>地(知)の拠点整備事業選定委員長所見
<資料2-3>平成25年度大学改革推進補助金(大学推進事業)調書
島根県立大学
<資料2-4>平成25年度大学改革推進補助金(大学推進事業)調書
島根県立大学短期大学部
<資料2-5>採択の際に通知した別紙における対応状況

小室委員から、地(知)の拠点整備事業の申請・採択状況や採択の際に通知した別紙における対応状況、本学が申請した事業概要等について説明があった。

齋藤委員から本事業と地域連携推進センターとの関係について質問があり、学長からセンター機能は維持し、併せて本事業を実施するイメージであると回答があった。

吉川委員から地域共生学入門の必修化の開始年度について質問があり、学長から各キャンパスで検討して実施することになり、開始年度を合わせる必要はないと説明があった。

学長から、3キャンパス一同に会して事業を実施することは難しいことも多いので、これを補うためにICTを活用していく。3キャンパスで調整しながら本事業を推進したいと発言があった。

山下（由）委員から、本事業の浜田キャンパスの運営体制を明らかにするよう依頼があり、小室委員から、後日体制をお知らせすると回答があった。

事務局の稲垣事務室長から、「プラットフォーム」の概念について質問があり、学長から、実行委員会のようなイメージで、関係団体の代表者が集まってそこで合意を形成し実施していくというものであり、実際に事業を進めていくとスタイルが決まってくるのではないかと回答があった。

山下（一）委員から、短大部専攻科に関することは、県立大学出雲キャンパスの事業として整理することでよいか確認があり、了承された。

小室委員長から、副申をもらった市町村への協力依頼手法等について、個別にアンケート調査を実施してその結果を元に協議することを予定していたが、一同に会する機会を設けた方がよいとの意見もあるため、さらに検討すると説明があった。

〔その他〕

○ 次回開催について

今回は、9月18日（水）15時～ 松江キャンパスとの確認があった。